

## 平成30年度第4回士別市教育委員会会議録

1. 開 会 平成30年 8月17日 (金) 午後 3時30分
2. 閉 会 平成30年 8月17日 (金) 午後 5時20分
3. 会 場 教育委員会 教育長室
4. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 鴻 野 弘 志  
代理 五十嵐 紀 子 生涯学習部次長 長 南 広 基  
委員 千 田 秀 昭 合宿の里推進室長 三 上 正 洋  
委員 馬 場 千 晶 合宿の里推進室指導監 濱 田 納 睦  
委員 加 藤 洋 之 学校教育課長 須 藤 友 章  
社会教育課長 武 山 鉄 也  
生涯学習アドバイザー 佐 藤 雅 満

### 5. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

#### ○中峰教育長あいさつ

夏休み中は事故の報告もなく、各学校の生徒がスポーツ等の全国大会で活躍。明後日から全日本のスケートチーム合宿が開始。平昌で活躍した選手たちが来市。馬場委員は任期満了となるが、引き続き任にあたっていただきたい。道外視察研修の日程調整中。今後も文部科学省の職員研修や東高校の70周年など予定しています。本日もよろしくをお願いします。

#### 1 議事について

#### ○中峰教育長 進行

議案第19号 平成31年度から使用する中学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について審議する。

道徳の教科用図書は8社が作成したものの中から1社を教科用図書採択協議会において選定する。

協議会は7月23日に開催し、出席者全体の意見を集約して決定した。

実際に教科用図書を見ていただきたい。(各委員が内容確認)

教科書を展示していた期間中に数件の意見が寄せられていたが、採択する教科書に対し肯定的なものであった。

#### ○五十嵐代理

道徳には正解がいくつもあるもの。

#### ○中峰教育長

3年生の教科書では葛西選手のオリンピックでの歩みを取り上げている。

教科用図書採択協議会で選定し、各教育委員会で承認する。会社によっては教科書と別に意見等を書き込む冊子がついているものもあった。装丁が豪華で教科書が重くなってしまふ。

#### ○五十嵐代理

孫のランドセルがとても重い、成長期の体に影響があるのでは。

#### ○加藤委員

中学生になると、もっと重くなる。

○中峰教育長

採択協議会では、挿絵も大事なポイントという意見もあった。教職員向けの手引きをネットで公開している所もある。

※ 議案第19号 了承

○須藤学校教育課長

議案第20号、平成30年度士別市教育委員会補正予算について説明。

○中峰教育長

全道、全国大会参加奨励費については、議決になるまでに支払うべきものについて就学援助費から40万円程度流用する。13日には南中バスケット部の様子がテレビ放送された。大会に参加した結果については上手く周知しなければ。報道も掲載が遅いものがある。

基準に適合していないブロック塀については全て撤去するという考え方もできるが、塀があるという意味から、機能を保ちつつ適合させて残すべき。

※ 議案第20号 了承

○鴻野部長

議案第21号、平成30年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告について説明。

8月9日に評価委員会を開催。その際に、A評価とB評価だけなのかという意見や、評価が良いか悪いかではなく、事業が必要かどうかであるといった意見があった。

昨年の報告書とは掲載順番を入れ替えている。

○五十嵐代理

昨年は内容が分散していたが、整理されて見やすくなった。

○中峰教育長

来年はもっとコンパクトになる。

○千田委員

教育委員の会議出席状況は外したのか

○五十嵐代理

結果として残すべきでは。

○中峰教育長

評価の視点は何をもちいて良い悪いなのか、客観的な基準が必要。北海道の報告書では評価基準のパターンを作っている。予算の執行状況を表示してはとの意見もあったが、ハード事業とソフト事業を並べて表示するのはどうかと思う。疑問点や意見があれば。

○馬場委員

文化祭については中央地区だけがB評価だが、それ以外の地区はA評価で、昨年も同じ評価であった。展示やプログラムも、他の地区より多いはず。

○武山課長

中央地区の展示は、かなり減った印象がある。同じことの繰り返しになっているので、若年層への働きかけなどが必要。

○五十嵐代理

マンネリの印象がある。他の地区は新しいものがある。同じ内容で数が減っている。

○馬場委員

展示については、どこも同じ悩みがあるのでは。

○武山課長

地区では地域の人に関わっている印象。中央は会場が広いせいかわ勢いが感じられない。

○五十嵐代理

朝日では、展示に携わった人から直接話を聞くことができる。

○中峰教育長

文化祭は行政主体であり、間違いなく数は減っている、そこをどうするか。文化協会では7月にも発表を行っており工夫が必要。

報告書には委員の会議出席状況を追加し、若干の文言整理を行いたい。

※ 議案第21号 了承

## 2 報告について

(1) 平成30年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

○佐藤アドバイザー

調査の結果については、7月末にデータで受領。今年は良い結果が出ているが、安心するものではない。今後、早い時期に詳細な分析を作成する。

○中峰教育長

結果が良くなかった年は問題が難しかったのか、学力が低かったのかわからない。全体として上がった下がったの判断も難しい。この結果をどう活かすか。授業改善など行っているのが安定的になれば良い。学力だけでなく自己に対する肯定感が高くなってもらいたい。

(2) オリンピック教室の開催について

○須藤課長

8月30日、31日の両日で、オリンピック・パラリンピック教育推進事業を実施。ボブスレーでオリンピックに出場した桧野真奈美さんを講師に迎え、士別中学校を拠点校、それ以外の中学校と士別小学校を協力校としてオリンピック教室を開催する。

○中峰教育長

講師の桧野さんは精力的に活動されている方。

○三上室長

9月2日に開催するオリンピックデーランについては、参加者1,000人を目標としているのでご参加いただきたい。オリンピック9人、パラリンピアン2人がゲスト。総合体育館でトランポリン教室を開催する。

○中峰教育長

スキークエアリアルの逸見さんと連動する話もあった。

○五十嵐代理

ゲストの人数が多いのでは。

○中峰教育長

JOCから増やすという話を聞いていたが、士別に関してはトヨタ自動車の協力があつた。テニス選手の方も候補だったが日程が合わなかった。

○三上室長

陸上教室でお世話になった高平さんも来てくださる話があつたが、今回は見送りとなった。

○中峰教育長

このような機会を活かして子ども達にスポーツの素晴らしさを伝えたい。

3 その他について

(1) 当面する今後の日程について

鴻野部長説明。

○鴻野部長

ダイハツ工業の協力を得て「ものづくり教室」を開催する。大阪から10人が来士し、工場のラインを再現するもの。また、本年も文部科学省の職員研修を受け入れることとなった。

○中峰教育長

2学期も長いようであつという間、通学路の安全点検などやっていかなければならない。学校のオートロック化なども課題となってくる。

午後5時20分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

教 育 長

中 峰 寿 彰

会議録調整者

須 藤 友 章